

平成 30 年度東浦町若者会議 第 4 回開催記録

1 開催概要

若者の発想やアイデアを実際のまちづくりに生かすこと、若者に「まちづくり」に興味を持ってもらうきっかけづくりとすることを目的として、平成 30 年度東浦町若者会議を開催します。グループに分かれ、東浦町の課題等に対する事業を検討します。

第 4 回では、提案内容をまとめ、報告会の資料作成と発表準備を行いました。

- 日 時：平成 30 年 9 月 9 日（日） 午後 1 時 30 分から午後 4 時まで
- 場 所：東浦町文化センター 視聴覚室
- 参加人数：16 人
- 内 容：
 - 1 開会（あいさつ、本日の予定について）
 - 2 報告会について
 - 3 前回の振り返り、役割分担
 - 4 グループワーク
「報告会の準備をしよう」
 - ①提案をまとめる（発表資料の作成）
 - ②発表準備、練習
 - 5 閉会

2 開催の様子



3 あいさつ、本日の予定について

<本日の予定>

前回に引き続き、提案する事業の内容をまとめます。まとめた内容を発表用紙に記入し、資料を作成します。資料が完成したら、報告会に向けた準備をします。

①提案をまとめる（発表資料の作成）

前回に引き続き、提案する事業の内容をまとめ、資料を作成します。資料では、以下の項目について記載します。

提案事業名／現状、課題／事業の目的／事業内容／

実施に必要なもの、お金がかかるもの／利点／欠点（問題点）と克服アイデア／
行政がやること、自分たちにできること

②発表準備、練習

発表に向けて、発表者の決定、発表内容の検討（発表原稿の作成）、発表練習をします。

4 報告会について

発表準備をするにあたって、報告会の流れについて説明しました。

- 発表時間は各グループ 10 分。その後、質疑応答。
- 発表資料は、プロジェクターで前方のスクリーンに投影。
- 発表するグループは全員前に出て、自己紹介とグループ名の説明をしてから発表に入る。
- 発表は、複数人で分担して行う。
- 報告会の前に、発表練習や最終確認のための時間を設ける。

発表順は、話し合いの結果次のとおり決定。

- ①ぶどうグループ
- ②カントリーマアムグループ
- ③半分、白いグループ

5 グループワーク

グループ名 : 半分、白い

●提案事業名

Connecting with 東浦 ～若者が町を繋ぐ～

●提案事業概要

若者が東浦についての情報を知らないという現状がある。そこで、東浦と若者のつながりを強化することを目的として、若者に向けた情報発信を行う。

若い住民によるサークルを設立し、情報収集と Twitter、Instagram 等の SNS による情報発信を行う。



グループ名 : ぶどう

●提案事業名

見てみやー！ やってみやー！ 食べてみやー！ 自ら守る防災

●提案事業概要

東浦町では、様々な防災に関する取組を行っているが、防災に関する情報をうまく住民に伝えられていない。また、若者については防災に関心がない。そこで、情報を伝え、危機感を持ってもらうためのきっかけとして、於大まつりのようなイベントに防災ブースを設けることを考えた。ブースでは、多くの人に興味を持ってもらうため、消火器体験、CG 映像、非常食などの試食会、土のう作り体験といった複数のコーナーを用意する。



グループ名 : カントリーマアム

●提案事業名

みんなでフォトコン 学習の森を調査しよう

●提案事業概要

東浦自然環境学習の森では、保全活動や各種体験が行われているが、知名度が低いという課題がある。そこで、学習の森のPR、宣伝につながる取組として、フォトコンテストを開催することを考えた。複数の部門を設け、入賞作品には賞品を贈呈する。また、写真展も開催し、多くの人に見てもらおう。

